

議会報告

令和7年第3回京田辺市議会定例会 本会議 一般質問

令和7年9月9日開催分

質問者	質問内容	答弁者	回答内容
国重議員 (自民一新会)	現在までの図書館業務における評価と課題について	教育部長	これまでの図書館業務については、「利用者と資料をつなぐサービス」を軸として、利用者と積極的に対話することで図書や資料と出会う機会を創出してきた。昨年度、同規模自治体の中で、年間貸出数が全国4位になっていることから、利用者のニーズを把握したサービスが提供できているものと考えている。しかし、利用登録者数は人口の約16%にとどまっていることから、本を手に取りやすい演出や、新たな利用者が立ち寄りたくなる工夫をすることにより、魅力ある図書館になるよう努めたい。
国重議員 (自民一新会)	複合型公共施設整備基本構想の中で、「みんなで創る“つながり”“ひろがる”文化の広場」というコンセプトが掲げられている。複合型公共施設へ移転が想定されている中央図書館では、どのような目的やコンセプトを持って基本構想と整合性を図るのか。また、どのような図書館を	教育部長	中央図書館の複合型公共施設への整備に当たっては、「図書や資料を収集・整理・保存し、市民に無償で提供し、教養や調査研究、レクリエーション等に資することを目的」とする公立図書館としての基本的な役割を果たすとともに、市民ニーズや社会情勢を踏まえ、誰もが利用しやすく、くつろげる空間があり、新たな出会いや交流の場となる居場所として機能する施設となるよう検討している。今後のスケジュールについては、現在策定中

	<p>整備するのか現在の市の考え方について問う。</p> <p>複合型公共施設の新設による中央図書館の移転に伴い民営化も視野に入れるとの方向性であるが、今後のスケジュールについて問う。</p>		<p>の複合型公共施設整備基本計画と市立図書館サービスアクションプランとの整合性を図り、民間事業者の活用も視野に入れて、最適な事業手法の選定を行うことを想定している。</p>
<p>国重議員 (自民一新会)</p>	<p>移転に伴い、市民ニーズに寄り添った機能の拡充を行うとの方向性である。しかし、現在行われている機能を継承していくことも重要であると考え、どのような機能を継承していくのか市の認識について問う。</p>	<p>教育部長</p>	<p>複合型公共施設へ移転することで、様々な方がそれぞれのニーズに合わせて利用でき、新たな学びや出会いによって「みんなで創る“つながり”“ひろがる”文化の広場」というコンセプトに沿った施設を目指し、利便性の向上を図るほか、これまでから利用者と積極的に対話することで図書や資料と出会う機会を創出してきた成果とともに、本市の文化・伝統など地域性を考慮した取組や蔵書については、今後も継承していく必要があると考えている。その上で、現在、策定中の市立図書館サービスアクションプランにおいて、方向性を示したい。</p>